

平成22年2月18日(平成24年8月1日改訂)

国際児童文学館 移転後のイメージ

年度	平成21年度		➔	平成22年度				
主体	大阪府立国際児童文学館			大阪府立中央図書館				
概要	<p>大阪府は、大阪府立国際児童文学館の管理・運営を財団法人大阪国際児童文学館に委託</p> <p>昭和59年 大阪府吹田市千里万博公園内に開設 平成22年3月31日 閉館 所蔵資料 711,827点 うち寄贈 482,966点 (20年度末)</p> <p>[体制] 館長 常務理事兼事務局長 総務課 4人 (常勤2、非常勤2) 業務室 専門員 4人 (常勤3、非常勤1) 司書 11人 (常勤3、非常勤8)</p> <p>[運営経費] 178百万円</p>			<p>☆ 中央図書館内に国際児童文学館部分を明確に区分</p> <ul style="list-style-type: none"> 独立した閲覧室 「大阪府立中央図書館 国際児童文学館」 閲覧のみで貸出しはしない 入室は中学生以上、小学生以下は保護者同伴 区分した書庫 改修し図書館資料とは別管理 運営は直営 (一部業者委託) 資料の保存方法 国際児童文学館での方法を継続 <p>[体制] 国際児童文学館担当室 室長を含む司書 (常勤) 4人 専門員 期限付き常勤 1人 (現財団職員24年度末まで) 専門員 嘱託非常勤 1人 (現財団職員24年度末まで)</p> <p>[事業予算額] 平成22年度 39,913千円 (うち資料購入費14,000千円 資料整理10,290千円)</p>		連携 協力 ⇔ ⇔ ⇔	<p>財団法人大阪国際児童文学館は存続</p> <p>これからも子どもの本を通じて、子ども文化の振興をめざして活動を続けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務所を府立中央図書館内に置く 財団独自事業の継続、新規事業の実施 大阪府教育委員会および中央図書館国際児童文学館と事業について連携・協力 <p>[体制] 理事長 常務理事兼事務局長 総務課 主任 (常勤) 業務室 主任専門員 (非常勤)</p> <p>[年間予算規模] 20百万円程度</p>	
事業内容	<p>○資料の収集・活用に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の収集 (寄贈、購入) 資料の整理、保存、活用 情報検索システムの運用 子ども室でのサービス 閲覧室でのサービス レファレンス 特別貸出し、企画相談等 <p>○読書活動推進に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪府子ども読書活動推進連絡協議会事務局 モデル事業・講演会 ブックスタート啓発リーフレットの改訂配布 ほんナビきっず等システムの開発 (財団事業) <p>○講座・講演会等の開催業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童文学講演会、国際講演会 新刊紹介・解説、ボランティア研修講座等の開催 団体利用プログラム・見学等 子ども室行事、子どもの読書推進イベント 所蔵資料の展示 ニッサン童話と絵本のグランプリ (財団事業) <p>○調査・研究業務</p> <ul style="list-style-type: none"> アジアの子どもの本の研究・研究紀要 <p>○海外研究機関との交流等の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外専門機関との情報交換 国際グリム賞の実施 (財団事業) <p>○その他の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> HP充実等、図書検索外部システムとの連携 各種補助金等による事業実施 特別研究員制度 出版・編集事業の実施 			<p>☆ ○資料の収集・活用に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料購入予算 (従前同額) を確保 情報検索システムの運用<継続> 中央図書館こども資料室 (12万冊) と連携 小学校等での展示用貸出パック等は継続実施 朝読・調べ学習「特別貸出用図書セット」の実施<新規> 出版各社等に従前どおりの寄贈を依頼 資料の整理については、従来どおりの方法を継承 <p>○読書活動推進に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 公立図書館と学校との合同研修の実施<新規> 子どもの読書活動推進のための支援員派遣事業<新規> 保護者向け啓発リーフレットの改訂・配布<継続> <p>○講座・講演会等の開催業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 記念講演会等児童文学館機能紹介のイベント実施<新規> 新刊紹介講座 (1年間に出版された子どもの本の紹介と解説) <継続> <p>○海外研究機関との交流等の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学等研究機関での利用を促進するようPRに努める また、交流実績のある海外研究機関に対して利用案内を作成するなど、利用継続に配慮 <p>○情報発信・広報活動・その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ等により情報発信 		⇔ ⇔ ⇔	<p>○資料の収集 <継続></p> <ul style="list-style-type: none"> 出版各社、大学、一般の方々等に寄贈を依頼 収集した資料は、従前どおり永久保存および利用に供するため、中央図書館国際児童文学館に引き継ぐ <p>○読書活動推進に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪府子ども読書活動推進連絡協議会への参画 <継続・新規> <p>○教材開発を通じた子どもの読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ほんナビきっず」等システムの開発 <継続> <p>○講座・講演会等を通じた子どもの本の普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者養成 <継続・拡充> 保護者や子どもの本に関心のある人へのアプローチ 子どもと本を結ぶ活動 <p>○子どもの本の文化に親しむ機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ニッサン童話と絵本のグランプリの開催 <継続> <p>○研究及び出版の企画事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 文部科学省科学研究費助成事業 <継続> 「明治雑誌プロジェクト」 <継続> 出版企画 <新規> 等 <p>○国際交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際グリム賞の実施 <継続> 国際講演会の開催 <継続> 海外専門機関との情報交換 <継続> <p>○子どもの本の文化の振興・発展に関する事業その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種補助金等による事業実施 <継続・新規> 情報発信事業 <継続> 広報活動 <継続> 寄付金募集 <新規> 	

○新たなマネジメント体制で子どもの読書推進を強化
 ○3年間(22~24年度)の移行期間 ノウハウ等を引き継ぎ専門性を高めた後、中央図書館司書で対応
 ○大阪府教育委員会、中央図書館、財団法人が連携した事業を展開

☆ 子どもの読書支援センター、児童文化の総合資料センターとしての機能を引き継ぐ